

平成20年度
国土交通省関係予算概算要求概要
(四国地方整備局関係)
～「自立する四国」を目指して～

抜粋版



平成19年8月28日
国土交通省四国地方整備局



基本方針

平成20年度においては、安心して暮らせる地域づくりをはじめ、豊かさや活力の創造、広域的な交流や連携など、独自の魅力を発揮した個性ある豊かな地域づくりを目指し、次の項目に重点を置き、社会資本整備の効果的かつ効率的な事業を実施します。

安全で安心、いきいきと暮らせる地域づくり

四国の厳しい環境の中でいきいきと暮らせる地域づくりをめざします。

1 大規模災害に備えた防災体制の強化

2 東南海・南海地震対策の着実な推進

・高知第2地方合同庁舎整備の平成20年度新規要求

3 水問題対策の着実な推進

・飯尾川床上浸水対策特別緊急事業の平成20年度完了
・桑野川床上浸水対策特別緊急事業の平成20年度完了

4 命を支える道路ネットワーク

5 社会資本ストックの老朽化対策の推進

・道路構造物の更新時代への平成20年度の新たな対応

活力に満ちた地域づくり

四国内外との連携・交流を行う活力ある地域づくりをめざします。

1 四国内外の交流・連携の強化支援

・国道56号須崎道路の平成20年度全線暫定供用
・三島川之江港 金子地区 複合一貫輸送ターミナル整備の平成20年度新規要求

2 快適なまちなかの再生の推進

・JR四国土讃線連続立体事業の平成20年度完了
・国道11号坂出丸亀バイパスの平成20年度完成供用

独自の魅力を創造する地域づくり

四国独自の自然・歴史・文化を創造する個性ある地域づくりをめざします。

1 美しい四国づくりの推進

2 地域と行政の協働による地域づくりの推進

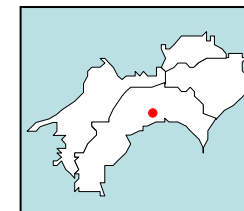
・今切川水辺プラザ事業の工事に平成20年度着工



～安全で安心、いきいきと暮らせる地域づくり～

四国の厳しい環境の中でいきいきと暮らせる地域づくりをめざします。

官庁施設の集約・合同化を図ると共に、大規模地震発生時にも官庁施設がその機能を十分に発揮できるように、防災拠点施設として合同庁舎の整備を新規要求します。



▼防災拠点施設としての合同庁舎の整備

高知第2地方合同庁舎整備の平成20年度新規要求（高知県高知市）

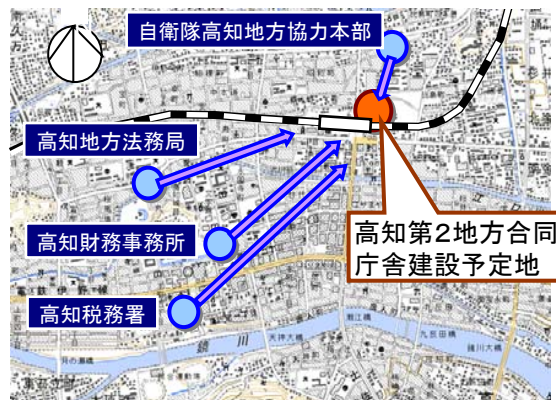
東南海・南海地震のような大規模地震発生時にも官庁施設がその機能を十分に発揮できるように防災拠点施設として、また、高知市内に分散している自衛隊高知地方協力本部、高知地方法務局、高知財務事務所及び高知税務署の4つの国の出先機関の集約・合同化を図るとともに、JR高知駅周辺のまちづくりに寄与する施設として高知第2地方合同庁舎の整備を新規要求します。

【建設予定地】



自衛隊高知地方協力本部

庁舎 RC-3・723㎡
1969年築



「国土地理院発行の2万5千分の1地形図(高知)」



高知地方法務局

庁舎 RC-3・1,267㎡,RC-3・1,730㎡
1965年築他



高知財務事務所

庁舎 RC-2・466㎡
1958年築



高知税務署

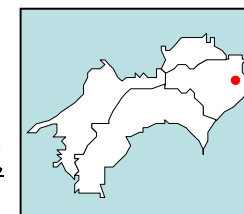
庁舎 RC-3・1,178㎡,RC-3・952㎡他
1954年築他

高知駅北に、
庁舎 地上10階地下1階 約10,000㎡他
を建設します。
新庁舎は、防災拠点施設として、大地震動後、
構造体の大きな補修をすることなく建築物を
使用できることを目標として整備します。



～安全で安心、いきいきと暮らせる地域づくり～

四国の厳しい環境の中でいきいきと暮らせる地域づくりをめざします。

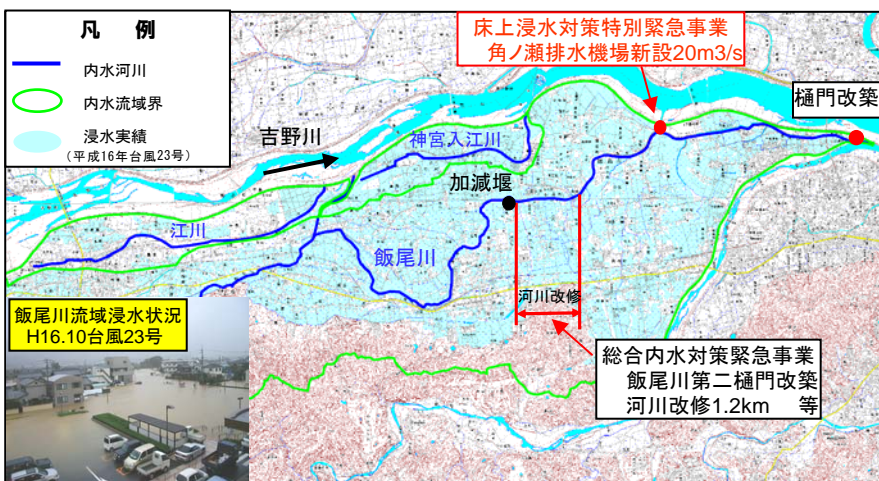


吉野川の飯尾川流域で頻発する内水被害を早期に軽減するため、飯尾川で発生した洪水を吉野川に強制排出する角ノ瀬排水機場の新設工事を完了します。また、那賀川水系桑野川流域で頻発する浸水被害を早期に軽減するため、引堤工事及び排水機場の新設工事を完了します。

▼洪水による再度災害の防止

飯尾川床上浸水対策特別緊急事業（角ノ瀬排水機場新設20m³/s）の平成20年度完了（徳島県徳島市）

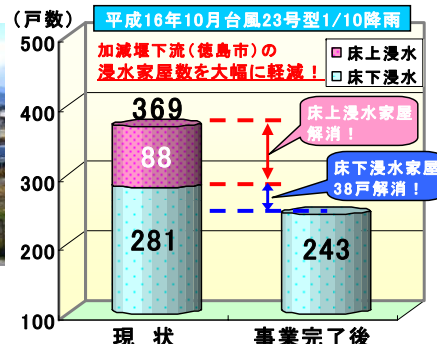
【事業箇所図】



【角ノ瀬排水機場完成予想図】



【事業効果グラフ】



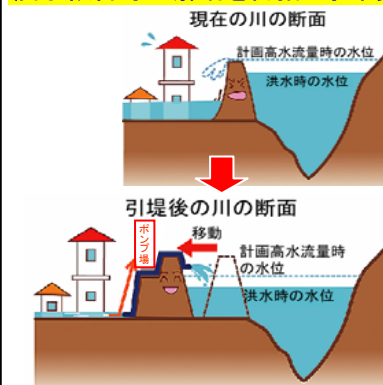
桑野川床上浸水対策特別緊急事業（引堤及び排水機場新設等）の平成20年度完了（徳島県阿南市）

【事業箇所図】

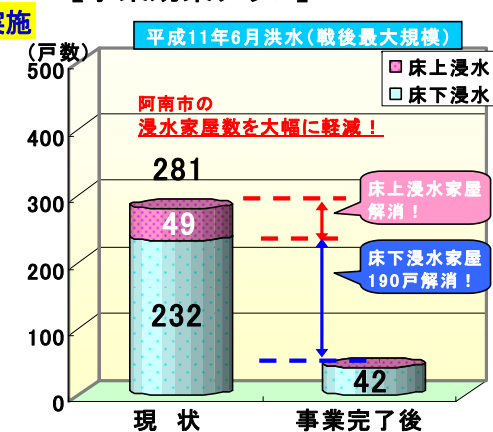


【引堤のイメージ図】

浸水被害等の解消を目指し事業実施



【事業効果グラフ】





～安全で安心、いきいきと暮らせる地域づくり～

四国の厳しい環境の中でいきいきと暮らせる地域づくりをめざします。

橋梁の長寿命化と修繕コストの縮減を図るため、小規模な段階で補修する予防的修繕へ転換する。また、四国4県については、平成20年度に予防的修繕も含めた「長期寿命修繕計画」の策定を実施します。

▼社会資本ストックの老朽化対策

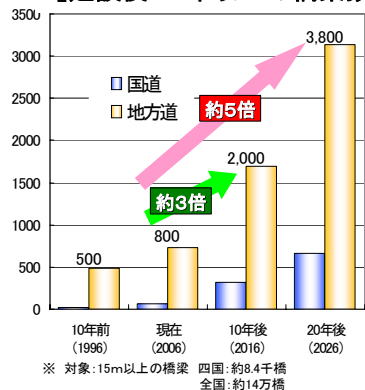
道路構造物の更新時代への平成20年度の新たな対応

四国の国道・地方道における建設後50年以上経過する橋梁数は、20年後には現状の8%から45%へと大幅に増加します。

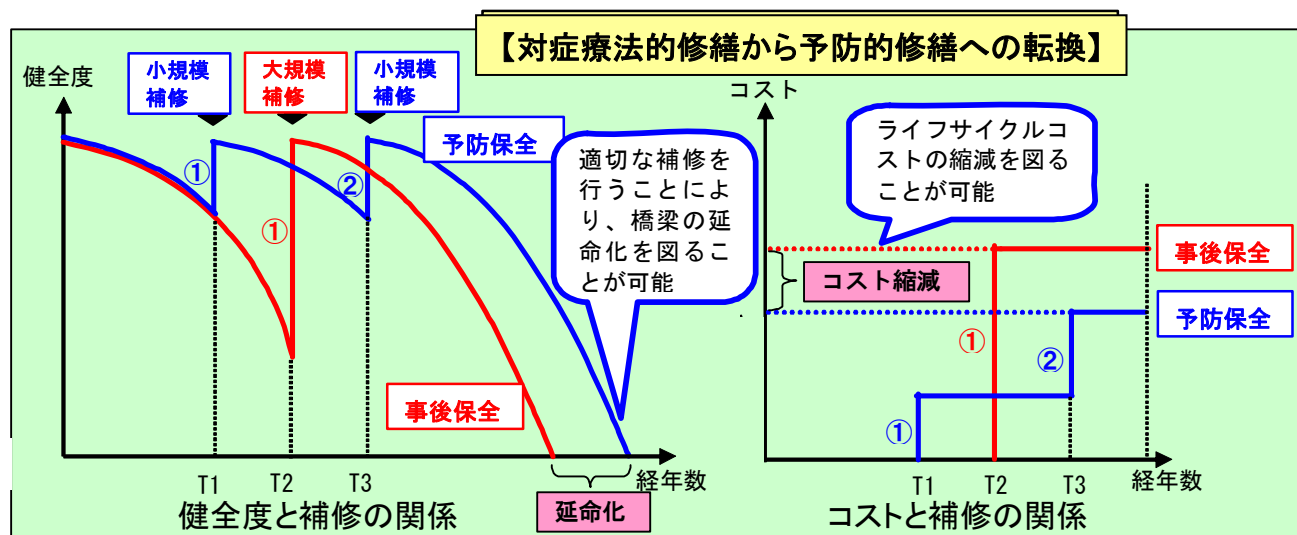
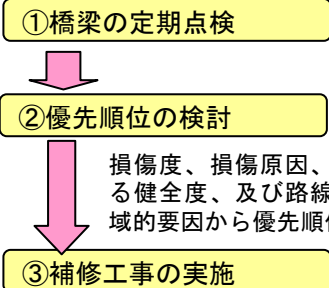
直轄国道については、橋梁の大規模補修となる前に、小規模補修を行うことで橋梁の長寿命化とコスト縮減を図る予防的修繕へ転換し、優先度の高い箇所から橋梁補修を実施します。

さらに、四国4県(地方公共団体)についても、従来の対症療法的な修繕及び架替えから、予防的な修繕及び長寿命化修繕計画に基づく架替えへと円滑な政策転換を図るため、「長寿命化修繕計画」の策定に本格着手します。

【建設後50年以上の橋梁数(四国)】



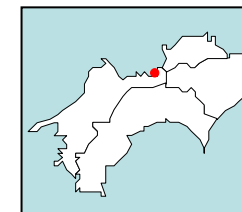
【長寿命化修繕のフォロー図(案)】





～活力に満ちた地域づくり～

四国内外との連携・交流を行う活力ある地域づくりをめざします。



地元産業の製品等の効率的な輸送を実現するため、国内物流ターミナルの拠点的整備を新規要求します。

▼効率的な輸送の実現

三島川之江港 金子地区 複合一貫輸送ターミナル整備の 平成20年度新規要求（愛媛県四国中央市）

三島川之江港では、製紙業の集積が高く、首都圏等に紙製品を輸送しています。近年、効率的な輸送を行うため、RoRo船による輸送が増えています。

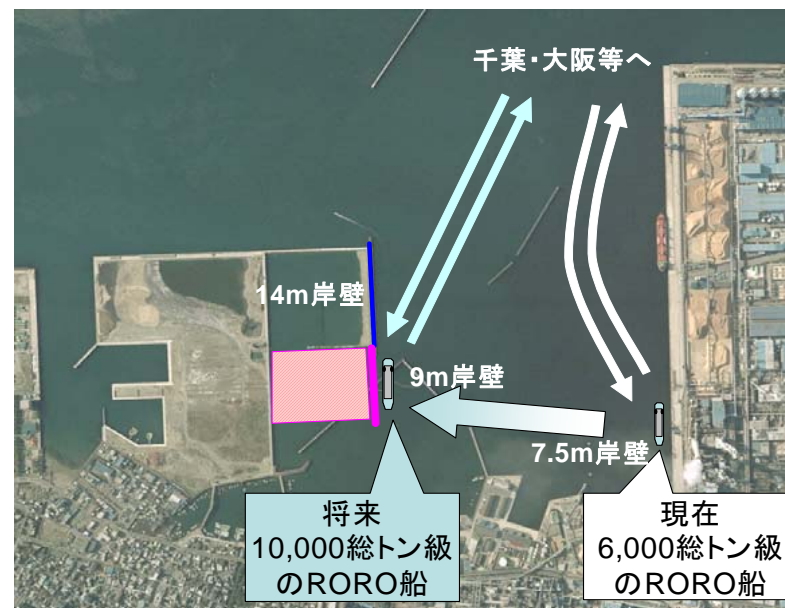
しかし、RoRo船による輸送は、トレーラーの待機場所が必要なため、現状の在来貨物を扱っていた背後地の狭い岸壁では非効率とならざるを得ません。更に、貨物量の増大により、岸壁から離れた場所にトレーラーの待機場所を確保せざるを得ないなど、問題は深刻化しています。

このため、金子地区を埋め立て、RoRo船に適した広いヤードを備えた複合一貫輸送ターミナルを整備する事業を要求します。また、岸壁の規模を大きくすることで、進展するRoRo船の大型化にも対応していきます。

注)RoRo船とは、Roll on Roll off船の略で、貨物をシャーンに載せたまま、トレーラーやフォークリフトで積み卸すタイプの船舶で、着岸後に速やかに移動できます。「人の乗らないフェリー」のイメージです。



RoRo船による荷役状況

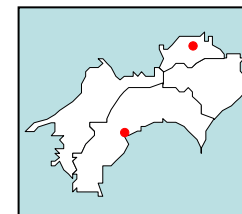




～活力に満ちた地域づくり～

四国内外との連携・交流を行う活力ある地域づくりをめざします。

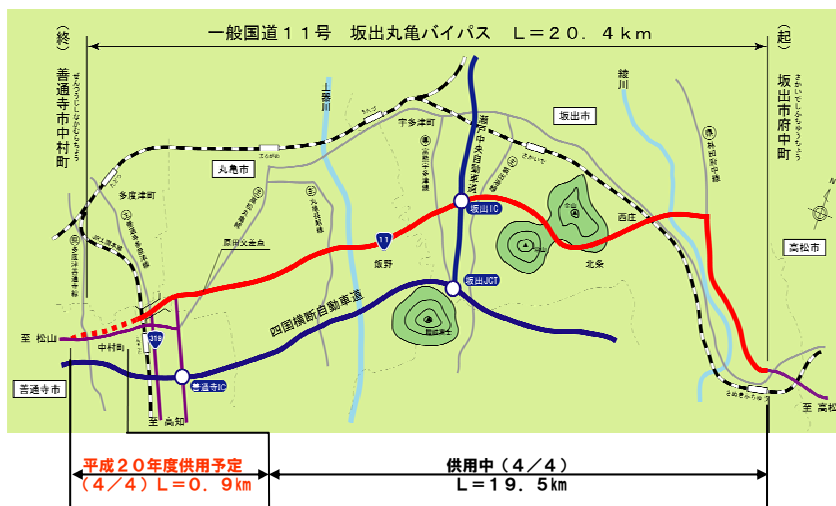
四国の交通渋滞は、市街地及びその周辺に集中しており、この交通渋滞解消に向けてバイパス整備を完了し供用します。



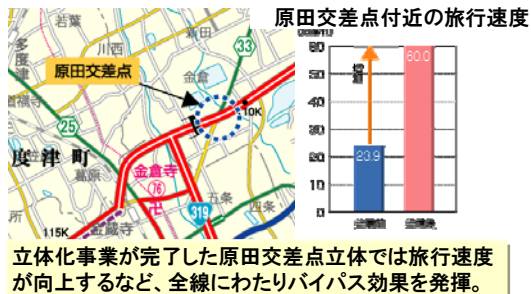
▼バイパス整備による交通渋滞の解消

国道11号坂出丸亀バイパスの平成20年度完成供用 (坂出市府中町～普通寺市中村町)

【事業箇所図】



【交差点立体等により渋滞を解消】



原田交差点整備前

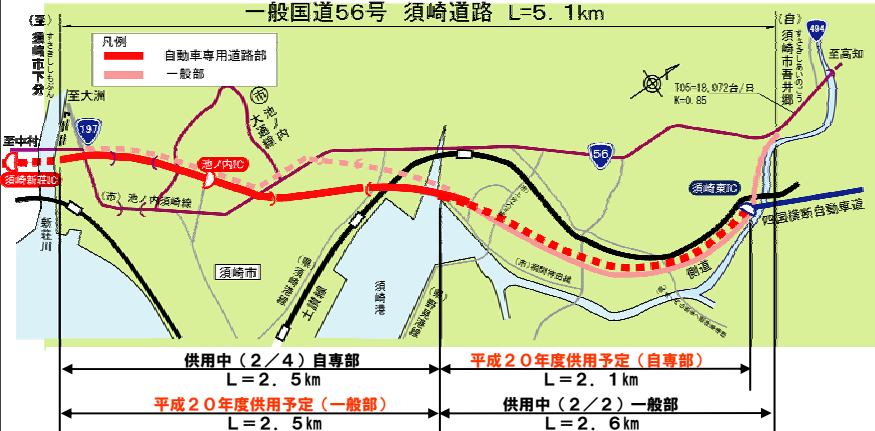


原田交差点整備後



国道56号須崎道路の平成20年度全線暫定供用 (須崎市神田～須崎市下分)

【事業箇所図】



今回の供用により、全線開通(自動車専用道路部:暫定供用、一般道路部:完成供用)します。

【幅員狭小区間を回避し円滑な交通を確保】



渋滞解消のほか、大型車すれ違い困難箇所である須崎隧道を回避し、交通を円滑化。

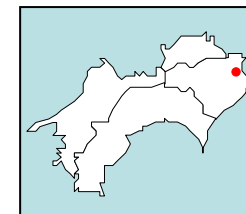




～独自の魅力を創造する地域づくり～

四国独自の自然・歴史・文化を創造する個性ある地域づくりをめざします。

にぎわいのある水辺空間として水辺プラザの整備を推進し、周辺地域との水辺利用のネットワークを形成することにより、うるおいや憩いを与える魅力ある地域づくりを実施します。
平成20年度に今切川水辺プラザ事業の工事に着工します。



▼地域と連携した水辺の整備

今切川水辺プラザ事業の工事に平成20年度着工

水上スポーツが盛んな今切川にふさわしい水辺環境の整備とまちづくり交付金事業により交流センターの整備を行います。平成20年度は、水辺へのアプローチ向上のための親水護岸の整備に着工します。

【事業箇所位置図】



【今切川水辺プラザ完成予想イメージパース】

【旧吉野川・今切川の水辺利用状況】
(リバーフィッシング大会)

